

## 【防災対策に関するアンケート】

調査期間 H30.9.14 ~ H30.9.28

回答率 84.6% 回答者数 336人

### アンケートの趣旨

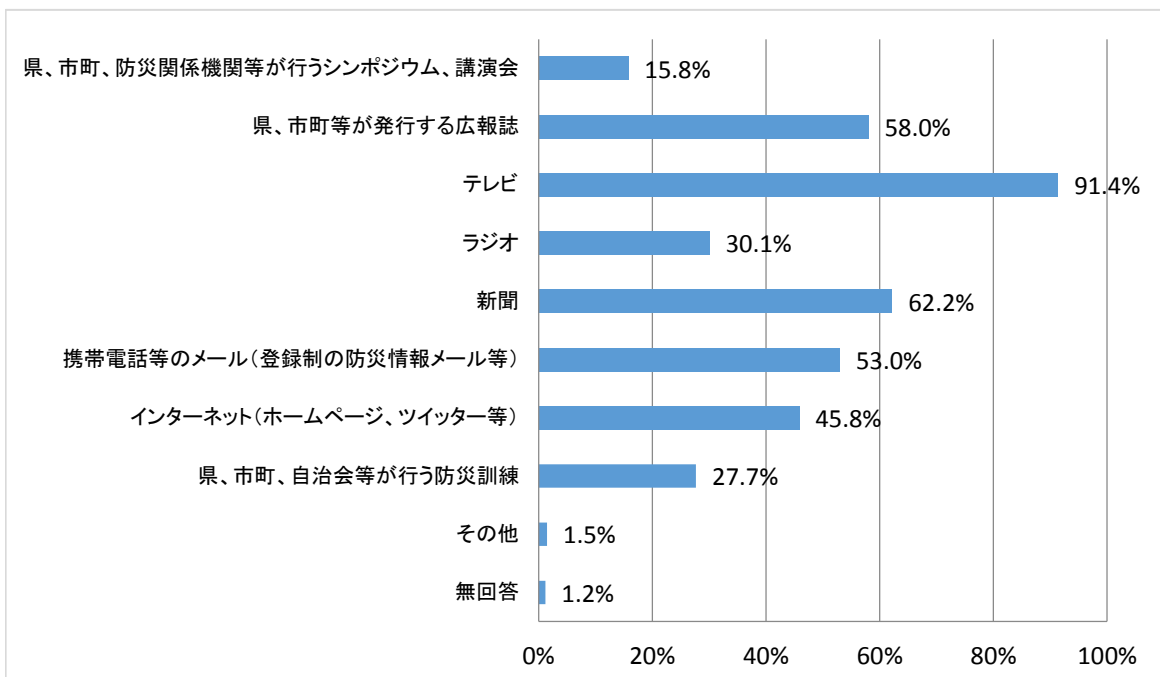
香川県は、比較的災害の発生が少ない地域でしたが、平成16年台風災害で、甚大な被害が生じたことを踏まえ、県では、平成18年7月に、自らの身は自らで守る「自助」、地域の安全は地域住民が互いに助け合って守る「共助」、行政による「公助」を基本とした「香川県防災対策基本条例」を制定し、災害に強い県土づくりに取り組んできました。

こうした中、平成23年3月に発生した東日本大震災や平成28年4月に発生した熊本地震、平成30年7月豪雨災害では、各地で甚大な被害が生じました。また、近い将来発生が予測されている南海トラフを震源とする地震では、非常に強い揺れや津波による被害が予測されています。このため、県では、防災対策について、これまでの取組みの検証を行い、必要な対策を講じるとともに、「香川県地域防災計画」の見直しを行い、大規模災害への対応の充実を図っているところです。

このアンケート調査は、調査結果を今後の県の防災対策に活用することを目的として実施するものです。みなさんのご協力をお願いします。

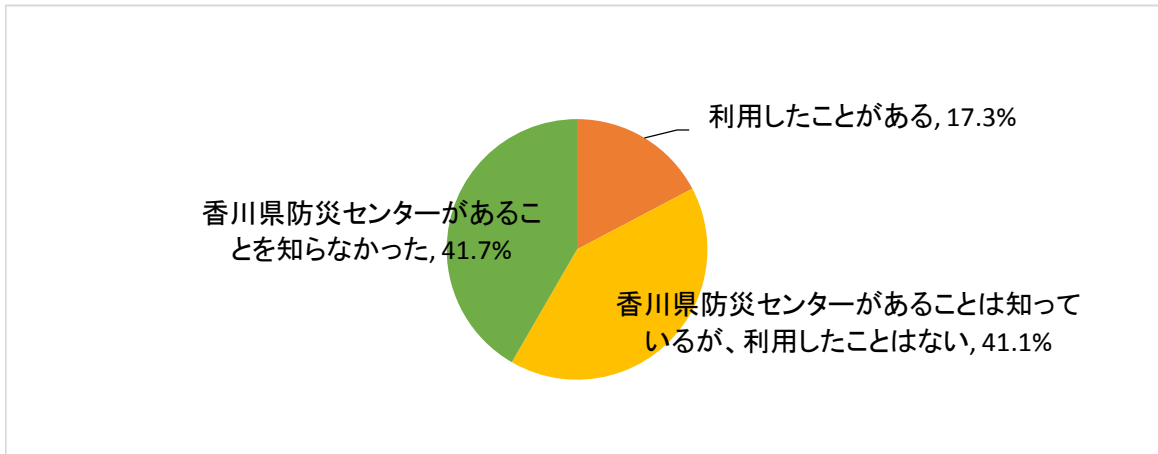
問1 あなたは、日頃、災害に関連する情報や防災対策の方法などについて、どのような手段を通じて情報を得ていますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 336	
	回答者数	構成比
県、市町、防災関係機関等が行うシンポジウム、講演会	53	15.8%
県、市町等が発行する広報誌	195	58.0%
テレビ	307	91.4%
ラジオ	101	30.1%
新聞	209	62.2%
携帯電話等のメール(登録制の防災情報メール等)	178	53.0%
インターネット(ホームページ、ツイッター等)	154	45.8%
県、市町、自治会等が行う防災訓練	93	27.7%
その他	5	1.5%
無回答	4	1.2%



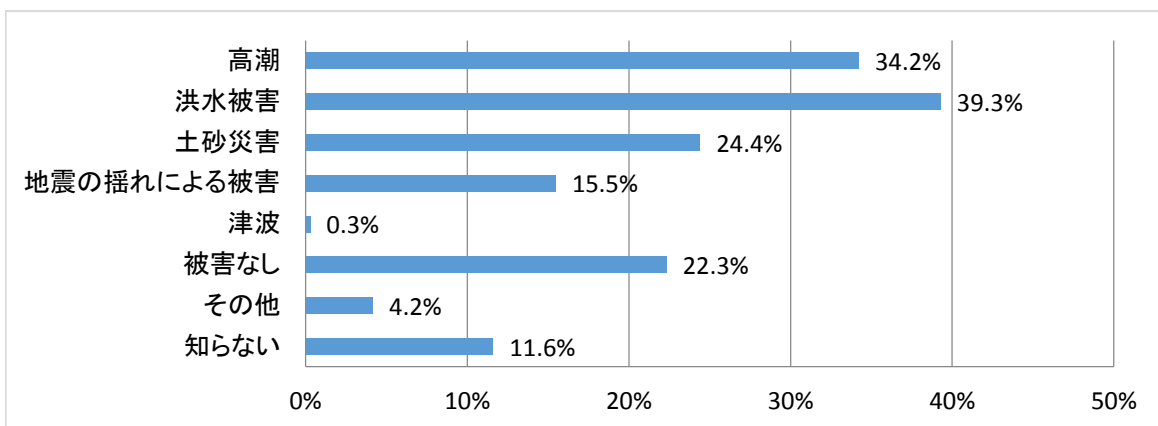
問2 あなたは、地震体験や消火体験などができる「香川県防災センター」（高松市生島町）を利用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
利用したことがある	58	17.3%
香川県防災センターがあることは知っているが、利用したことはない	138	41.1%
香川県防災センターがあることを知らなかった	140	41.7%
計	336	100.1%



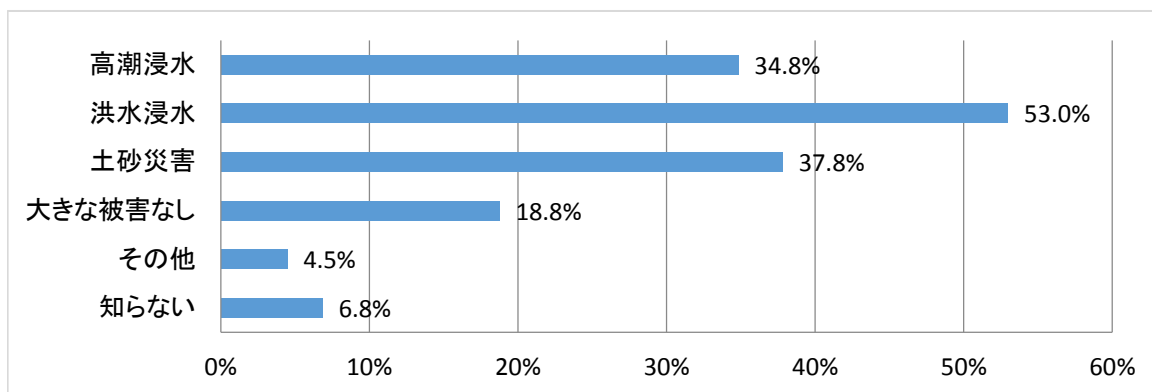
問3 あなたの住んでいる地域では、台風、集中豪雨などの風水害や地震などで、過去にどのような被害があったか知っていますか。あてはまる被害（被害なしも含む）をすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
高潮	115	34.2%
洪水被害	132	39.3%
土砂災害	82	24.4%
地震の揺れによる被害	52	15.5%
津波	1	0.3%
被害なし	75	22.3%
その他	14	4.2%
知らない	39	11.6%



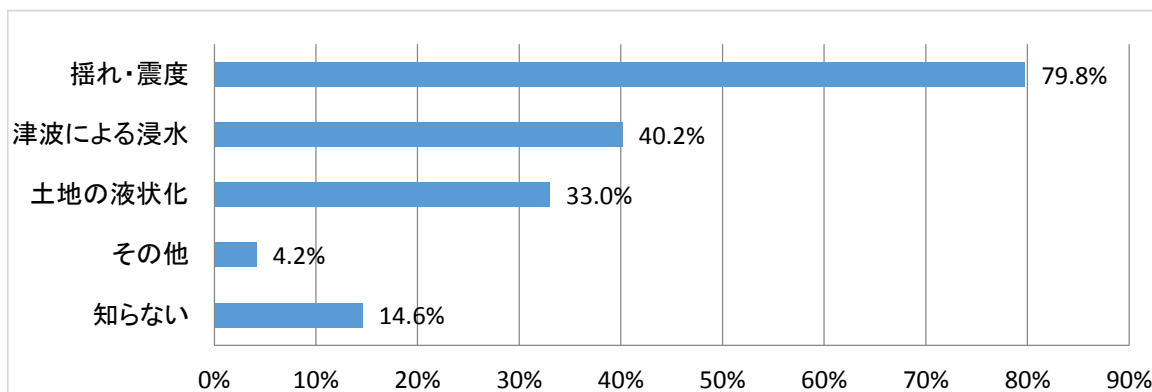
問4 あなたの住んでいる地域では、台風、集中豪雨などの風水害によって、どのような被害を受ける可能性があるか知っていますか。あてはまる被害（被害なしも含む）をすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 336	
	回答者数	構成比
高潮浸水	117	34.8%
洪水浸水	178	53.0%
土砂災害	127	37.8%
大きな被害なし	63	18.8%
その他	15	4.5%
知らない	23	6.8%



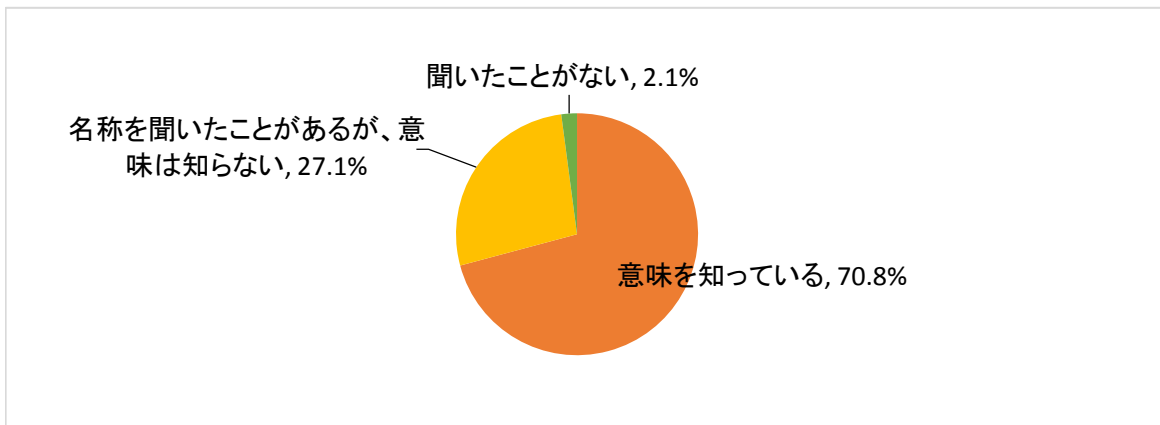
問5 県は、平成25年3月から4回にわたって、新たな地震・津波被害想定や被害シナリオなどを公表しましたが、あなたの住んでいる地域では、南海トラフを震源とする地震が発生した場合、どのような現象（揺れや津波、液状化等）や被害が予想されているか知っていますか。あてはまる被害をすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 336	
	回答者数	構成比
揺れ・震度	268	79.8%
津波による浸水	135	40.2%
土地の液状化	111	33.0%
その他	14	4.2%
知らない	49	14.6%



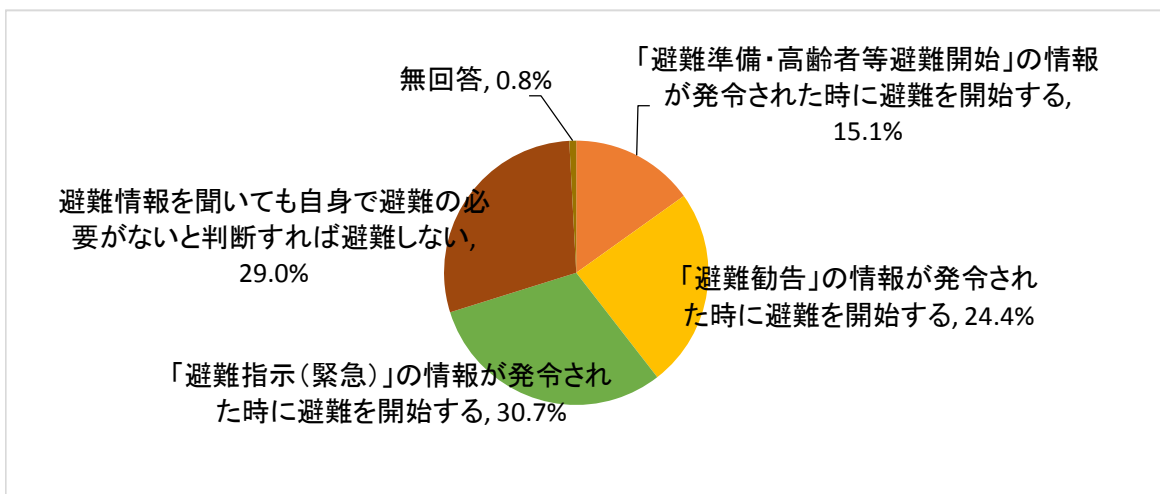
問6 あなたは、台風、集中豪雨などの風水害や地震などが発生した際に、呼びかけられる避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示（緊急）」）について、意味を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
意味を知っている	238	70.8%
名称を聞いたことがあるが、意味は知らない	91	27.1%
聞いたことがない	7	2.1%
計	336	100.0%



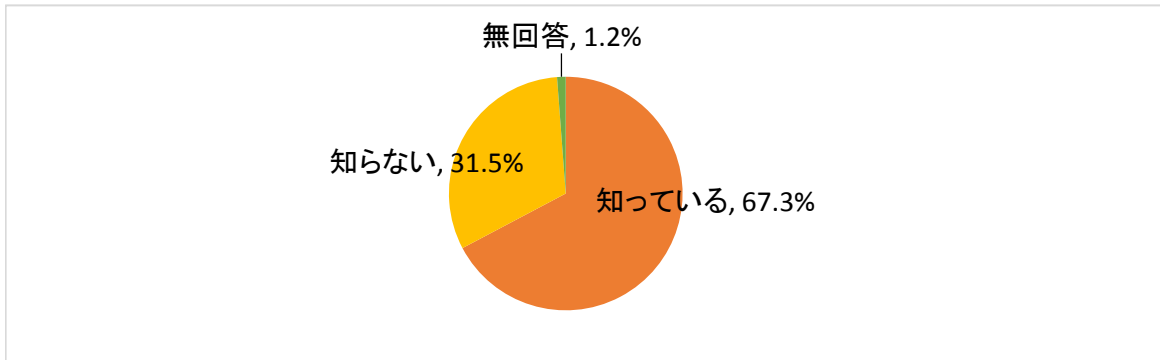
問6-2 問6で「1 意味を知っている」と答えた方にお伺いします。あなたは避難情報を聞いた時にどのような対応をしますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
「避難準備・高齢者等避難開始」の情報が発令された時に避難を開始する	36	15.1%
「避難勧告」の情報が発令された時に避難を開始する	58	24.4%
「避難指示（緊急）」の情報が発令された時に避難を開始する	73	30.7%
避難情報を聞いても自身で避難の必要がないと判断すれば避難しない	69	29.0%
無回答	2	0.8%
計	238	100.0%



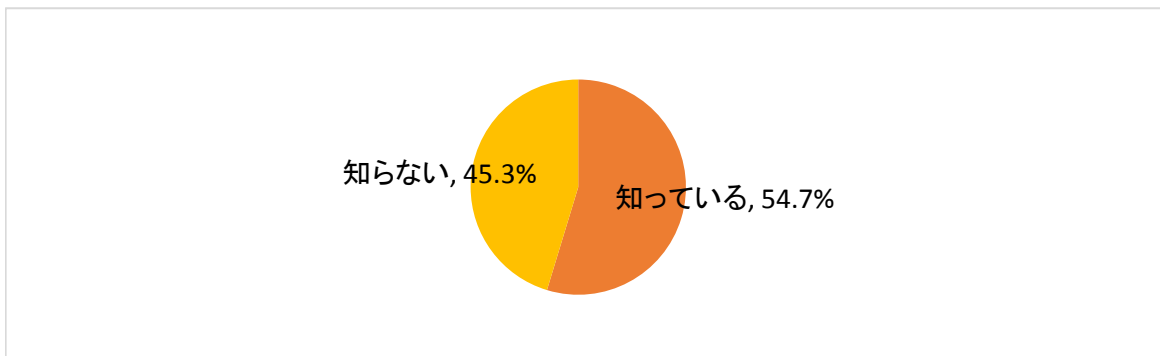
問7 あなたは、自宅で災害にあったとき、どのような経路でどこへ避難すればよいか知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	226	67.3%
知らない	106	31.5%
無回答	4	1.2%
計	336	100.0%



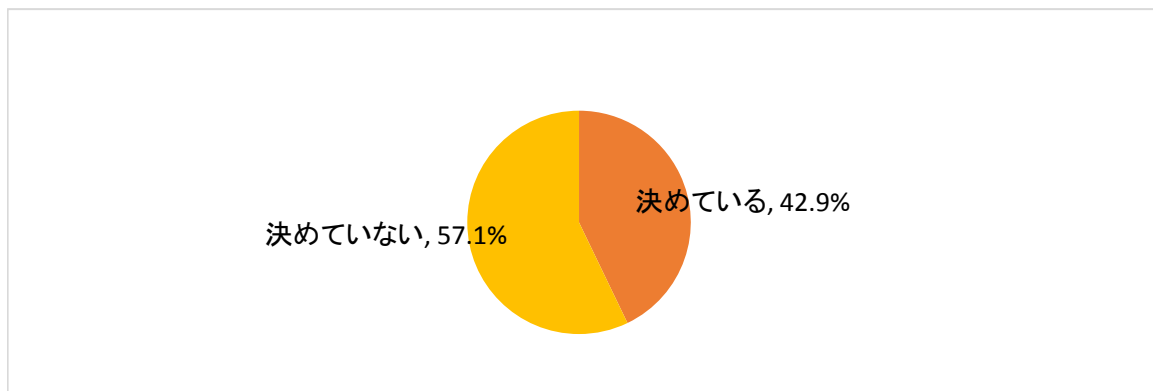
問8 お勤め又は学生の方にお伺いします。あなたは、職場又は学校で災害にあったとき、どのような経路でどこへ避難すればよいか知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	99	54.7%
知らない	82	45.3%
計	181	100.0%



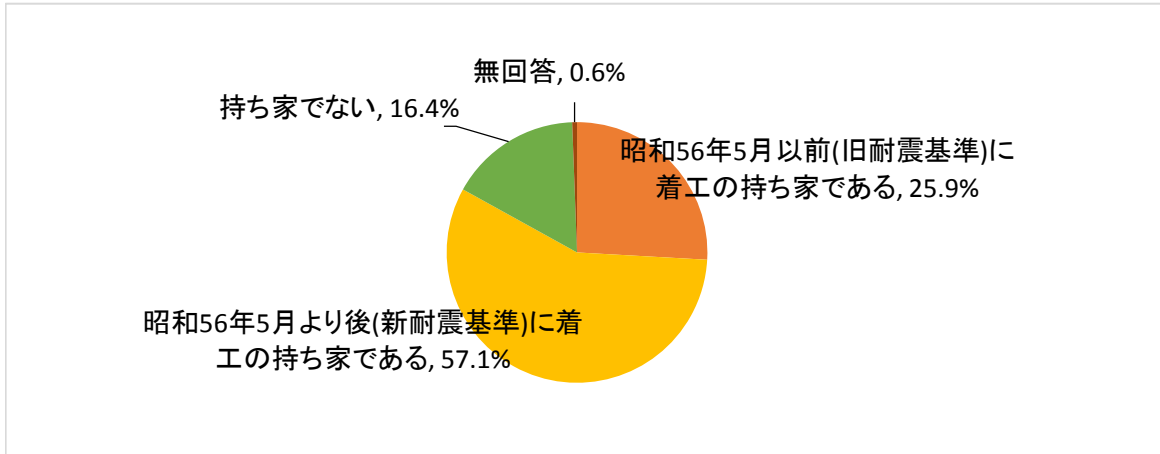
問9 ここからは全員の方にお伺いします。あなたのご家庭では、避難した場合の家族の集合場所やお互いの連絡方法を、話し合っていて決めていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
決めている	144	42.9%
決めていない	192	57.1%
計	336	100.0%



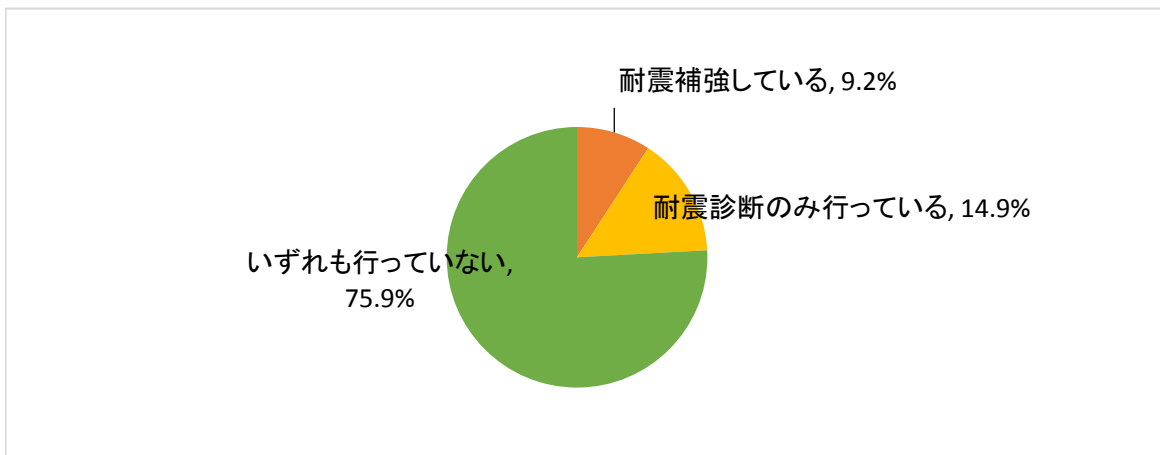
問10 ご自宅についてお伺いします。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
昭和56年5月以前(旧耐震基準)に着工の持ち家である	87	25.9%
昭和56年5月より後(新耐震基準)に着工の持ち家である	192	57.1%
持ち家でない	55	16.4%
無回答	2	0.6%
計	336	100.0%



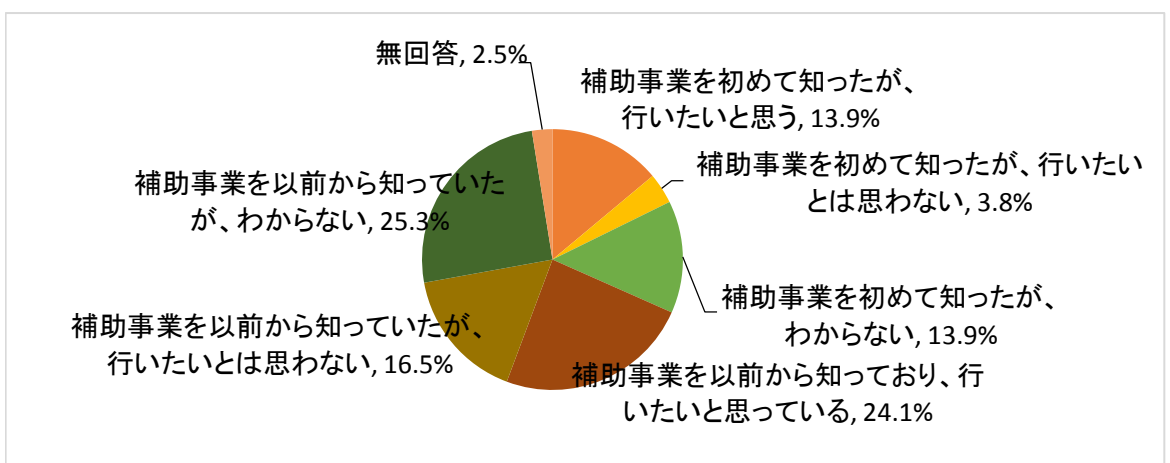
問10-2 問10で「1 昭和56年5月以前(旧耐震基準)に着工の持ち家である」と答えた方にお伺いします。あなたのお住まいは耐震性を調査し、必要な補強を行っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
耐震補強している	8	9.2%
耐震診断のみ行っている	13	14.9%
いずれも行っていない	66	75.9%
計	87	100.0%



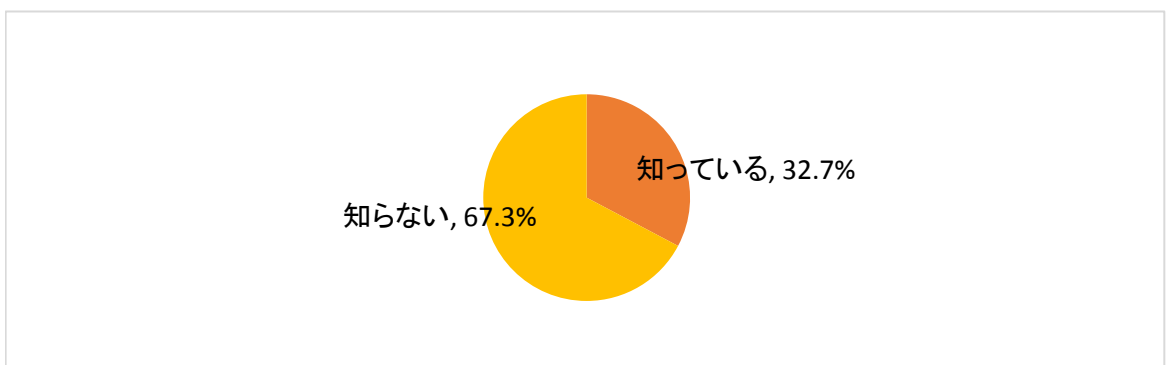
問10-3 問10-2で「2 耐震診断のみ行っている」、「3 いずれも行っていない」と答えた方にお伺いします。県では、平成23年度から市町と連携して、民間住宅の耐震診断や耐震改修工事に要する費用の一部を助成する事業（補助事業）を実施していますが、今後、補助事業を利用して耐震診断や耐震改修工事を行いたいと思いませんか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
補助事業を初めて知ったが、行いたいと思う	11	13.9%
補助事業を初めて知ったが、行いたいとは思わない	3	3.8%
補助事業を初めて知ったが、わからない	11	13.9%
補助事業を以前から知っており、行いたいと思っている	19	24.1%
補助事業を以前から知っていたが、行いたいとは思わない	13	16.5%
補助事業を以前から知っていたが、わからない	20	25.3%
無回答	2	2.5%
計	79	100.0%



問11 ここからは全員の方にお伺いします。平成28年度から、県では、市町と連携して、簡易な耐震改修や耐震シェルター等の設置に要する費用の一部を助成する事業（補助事業）を実施していますが、知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

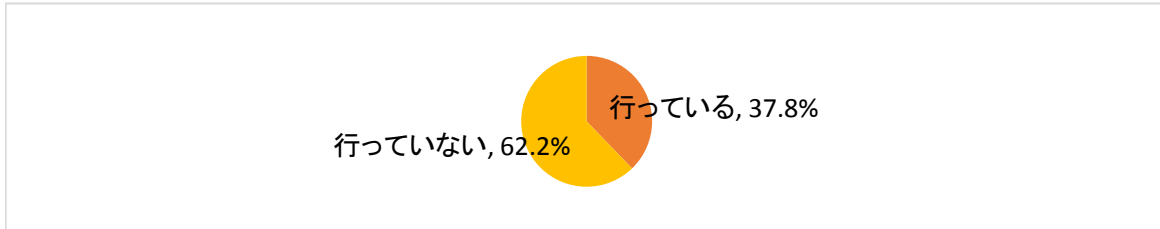
選択肢	回答者数	構成比
知っている	110	32.7%
知らない	226	67.3%
計	336	100.0%





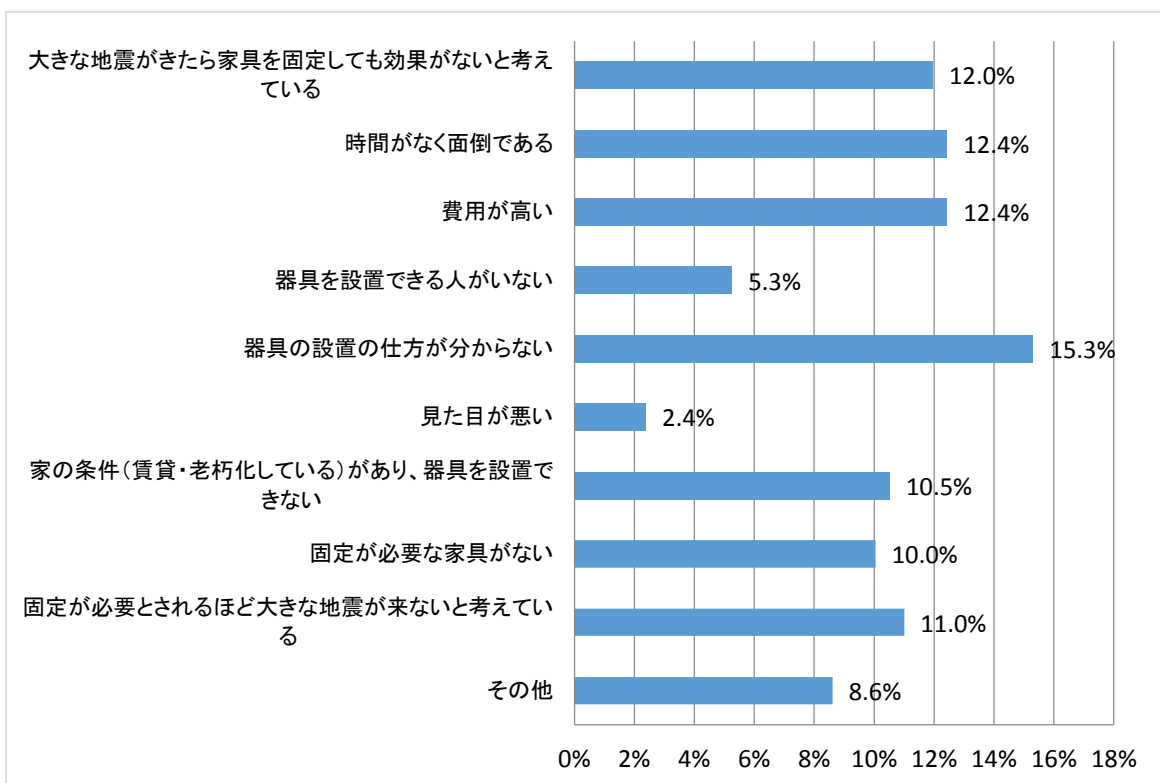
問12 あなたのご家庭では、地震に備えて、家具の固定化など家具の転倒防止対策を行っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
行っている	127	37.8%
行っていない	209	62.2%
計	336	100.0%



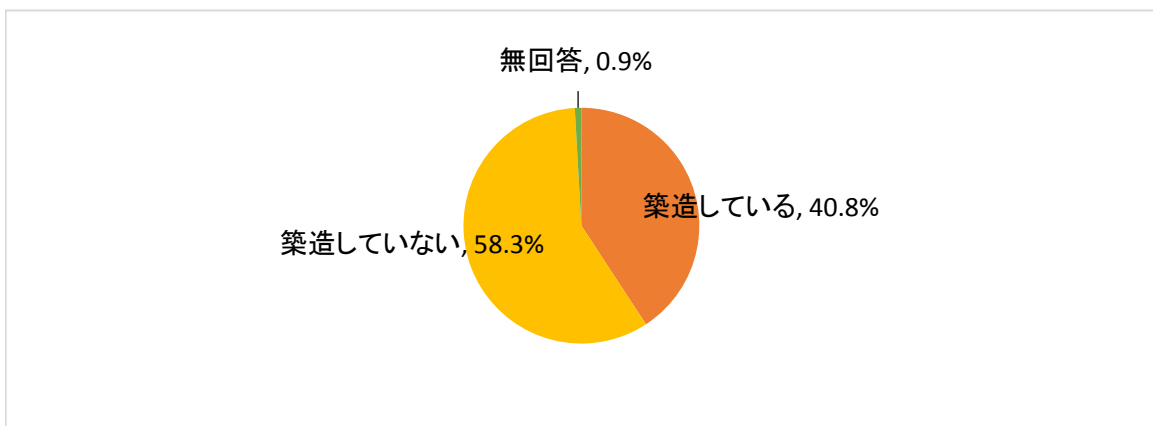
問12-2 問12で「2 行っていない」と答えた方にお伺いします。行っていない理由について、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
大きな地震がきたら家具を固定しても効果がないと考えている	25	12.0%
時間がなく面倒である	26	12.4%
費用が高い	26	12.4%
器具を設置できる人がいない	11	5.3%
器具の設置の仕方が分からない	32	15.3%
見た目が悪い	5	2.4%
家の条件(賃貸・老朽化している)があり、器具を設置できない	22	10.5%
固定が必要な家具がない	21	10.0%
固定が必要とされるほど大きな地震が来ないと考えている	23	11.0%
その他	18	8.6%
計	209	100.0%



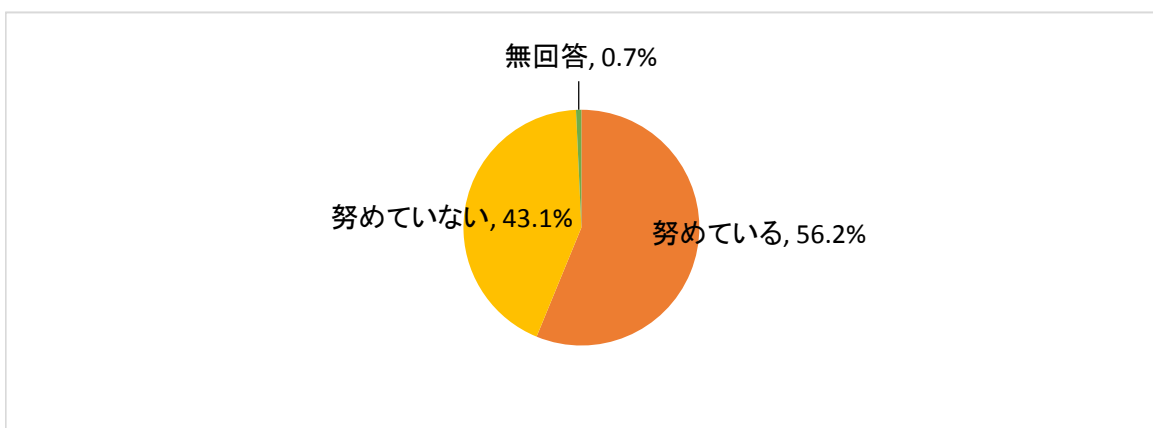
問13 あなたのご自宅では、道路に面してブロック塀を築造していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
築造している	137	40.8%
築造していない	196	58.3%
無回答	3	0.9%
計	336	100.0%



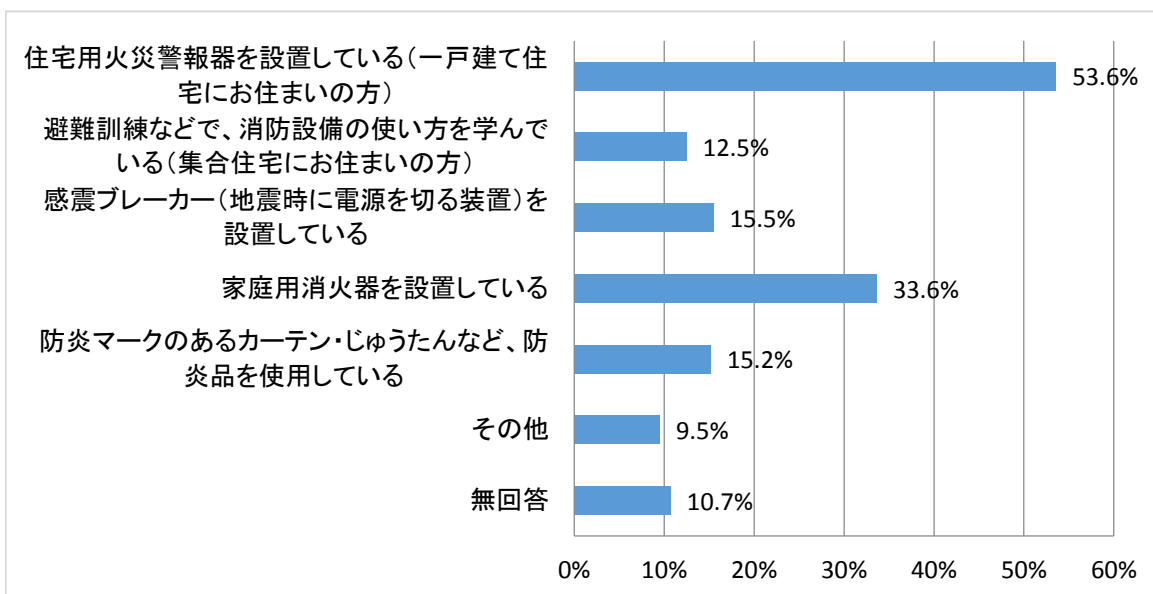
問13-2 問13で「1 築造している」と答えた方にお伺いします。地震の揺れでブロック塀が倒壊しないよう適切な維持管理に努めていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
努めている	77	56.2%
努めていない	59	43.1%
無回答	1	0.7%
計	137	100.0%



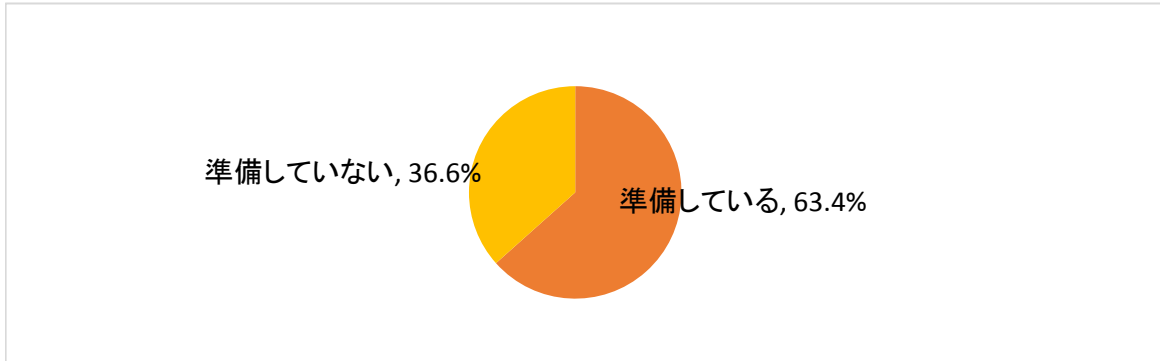
問14 ここからは全員の方にお伺いします。あなたのご家庭で実施している火災への備えについて、該当するものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 336	
	回答者数	構成比
住宅用火災警報器を設置している(一戸建て住宅にお住まいの方)	180	53.6%
避難訓練などで、消防設備の使い方を学んでいる(集合住宅にお住まいの方)	42	12.5%
感震ブレーカー(地震時に電源を切る装置)を設置している	52	15.5%
家庭用消火器を設置している	113	33.6%
防災マークのあるカーテン・じゅうたんなど、防災品を使用している	51	15.2%
その他	32	9.5%
無回答	36	10.7%



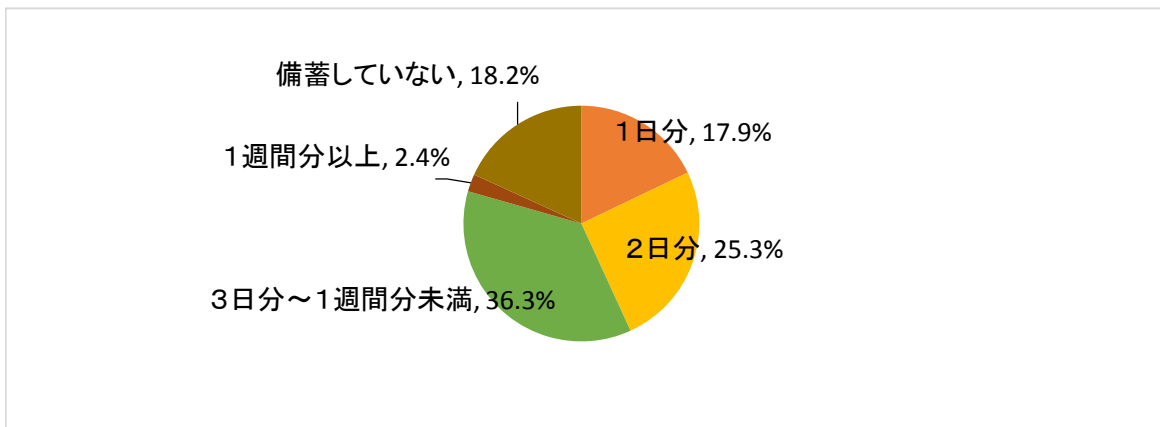
問15 あなたのご家庭では、非常食料、飲料水、常備薬、携帯ラジオ、懐中電灯など、避難の際に必要な物をすぐ持ち出せるよう準備していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
準備している	213	63.4%
準備していない	123	36.6%
計	336	100.0%



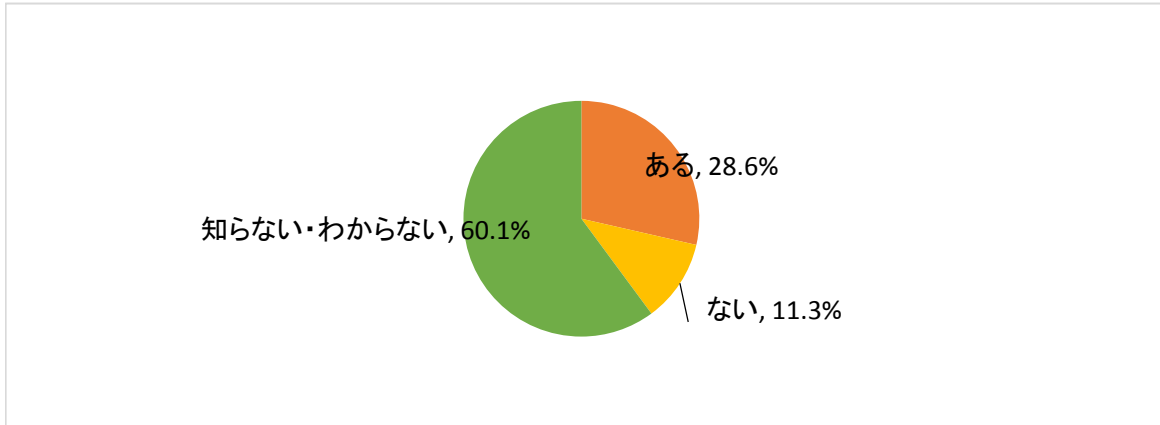
問16 あなたのご家庭では、地震により交通手段、電気、水道などライフラインが使えなくなった場合に備えて、食料、飲料水などを何日分備蓄していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
1日分	60	17.9%
2日分	85	25.3%
3日分～1週間分未満	122	36.3%
1週間分以上	8	2.4%
備蓄していない	61	18.2%
計	336	100.1%



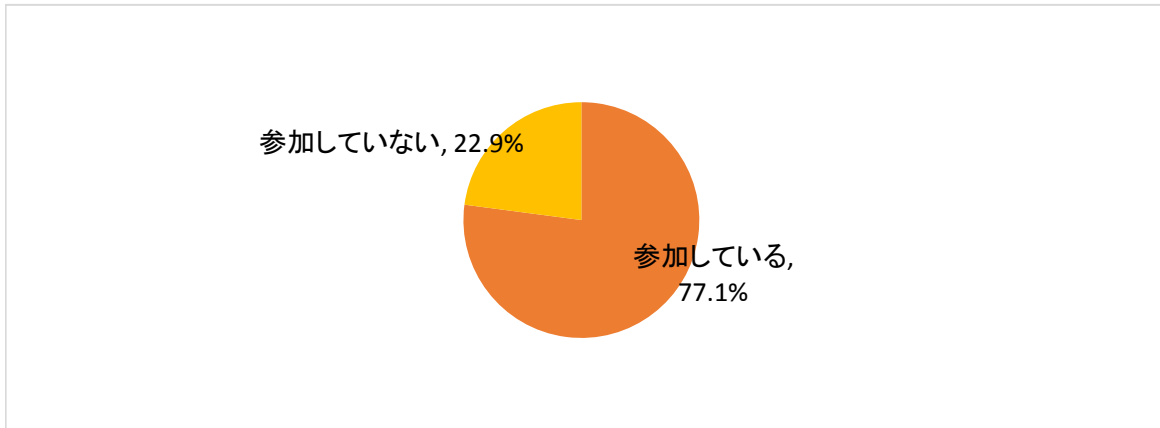
問17 あなたの住んでいる地域に、自主防災組織はありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ある	96	28.6%
ない	38	11.3%
知らない・わからない	202	60.1%
計	336	100.0%



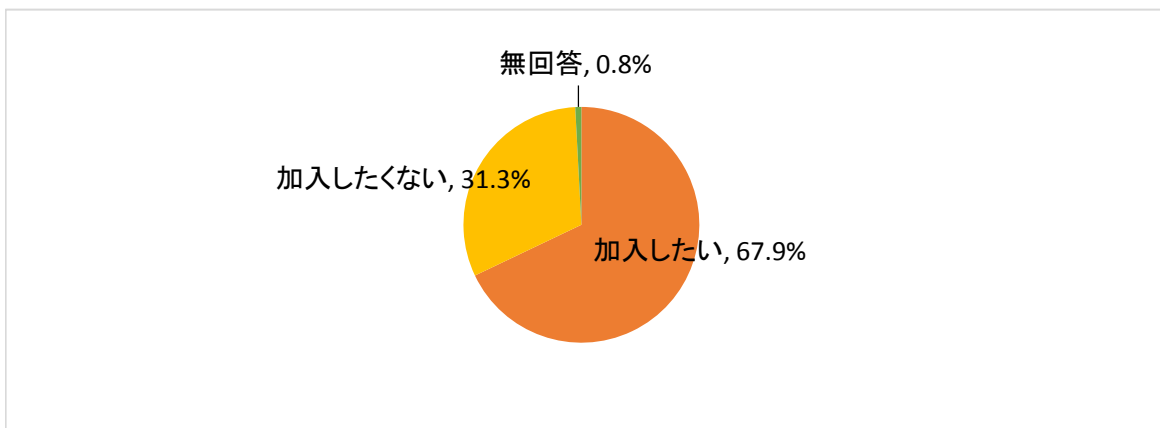
問17-2 問17で「1 ある」と答えた方にお伺いします。あなた又はあなたのご家族は、自主防災組織の活動に参加していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
参加している	74	77.1%
参加していない	22	22.9%
計	96	100.0%



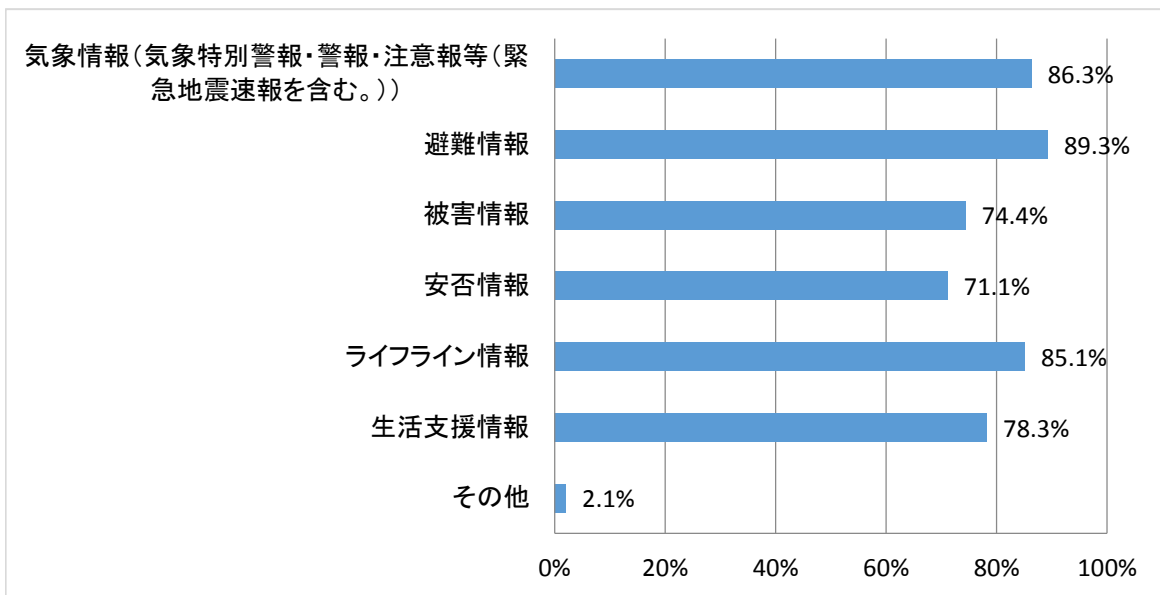
問17-3 問17で「2 ない」、「3 知らない・わからない」と答えた方にお伺いします。もし、あなたの住んでいる地域に自主防災組織があれば、加入したいと考えますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
加入したい	163	67.9%
加入したくない	75	31.3%
無回答	2	0.8%
計	240	100.0%



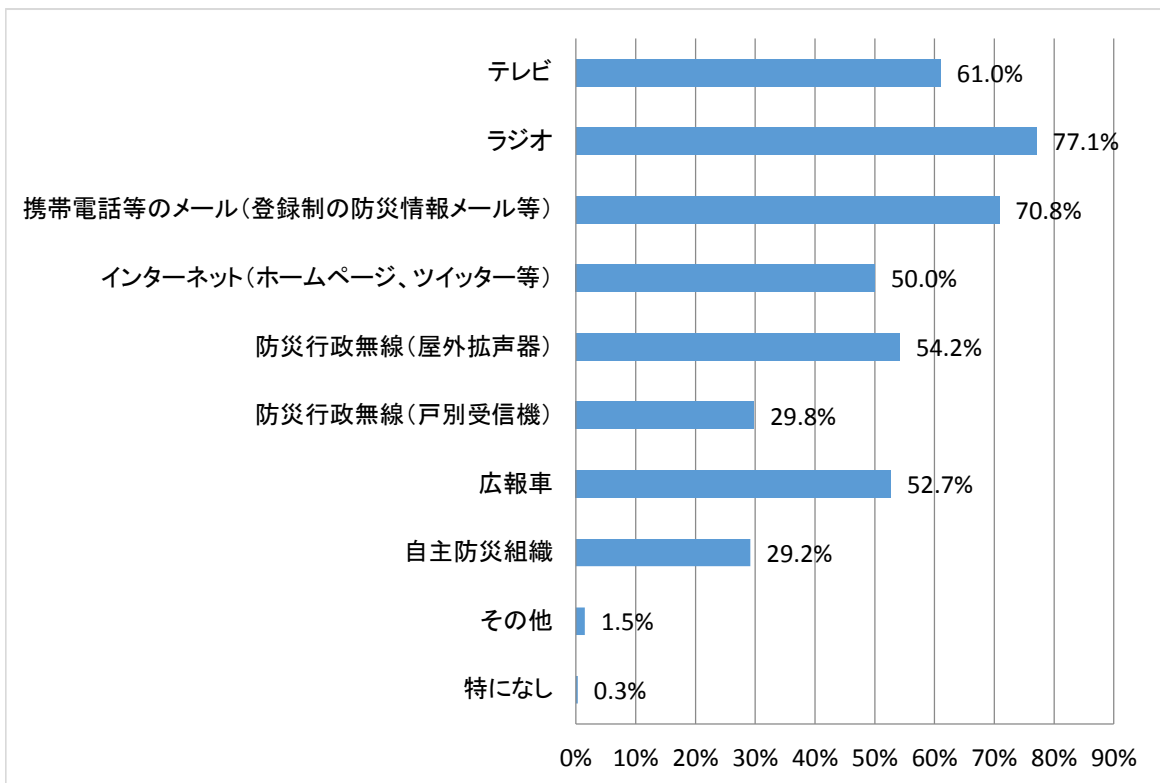
問18 ここからは全員の方にお伺いします。あなたは、南海トラフを震源とする地震等の大規模災害発生時に、どのような情報が必要だと思えますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

	回答者数	336
選択肢	回答者数	構成比
気象情報(気象特別警報・警報・注意報等(緊急地震速報を含む。))	290	86.3%
避難情報	300	89.3%
被害情報	250	74.4%
安否情報	239	71.1%
ライフライン情報	286	85.1%
生活支援情報	263	78.3%
その他	7	2.1%



問19 あなたは、南海トラフを震源とする地震等の大規模災害発生時にどのような情報収集手段が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください

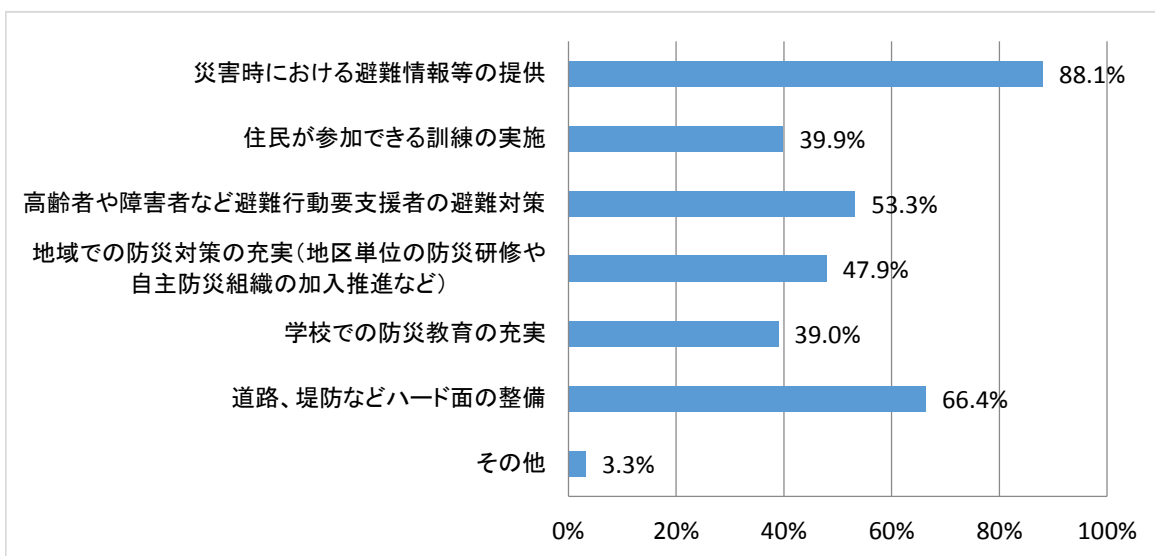
選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
テレビ	205	61.0%
ラジオ	259	77.1%
携帯電話等のメール(登録制の防災情報メール等)	238	70.8%
インターネット(ホームページ、ツイッター等)	168	50.0%
防災行政無線(屋外拡声器)	182	54.2%
防災行政無線(戸別受信機)	100	29.8%
広報車	177	52.7%
自主防災組織	98	29.2%
その他	5	1.5%
特になし	1	0.3%





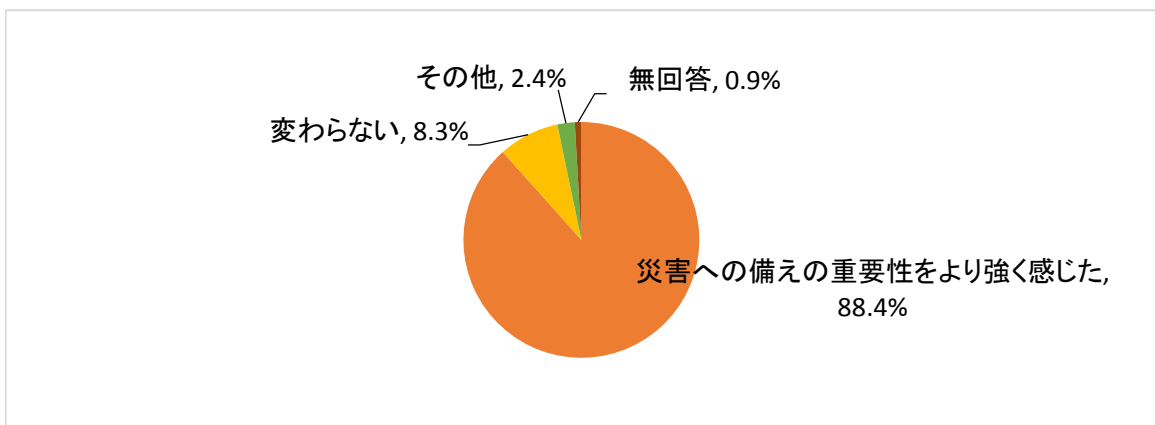
問20 あなたは、県や市町が実施する防災対策としてどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数	構成比
災害時における避難情報等の提供	296	88.1%
住民が参加できる訓練の実施	134	39.9%
高齢者や障害者など避難行動要支援者の避難対策	179	53.3%
地域での防災対策の充実(地区単位の防災研修や自主防災組織の加入推進など)	161	47.9%
学校での防災教育の充実	131	39.0%
道路、堤防などハード面の整備	223	66.4%
その他	11	3.3%



問21 あなたは、東日本大震災や熊本地震、近年の豪雨災害を経て、災害に対する意識は変わりましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
災害への備えの重要性をより強く感じた	297	88.4%
変わらない	28	8.3%
その他	8	2.4%
無回答	3	0.9%
計	336	100.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。